令和８年第４回田原市教育委員会定例会

１　開会　令和８年４月２８日　午後４時

２　閉会　令和８年４月２８日　午後５時８分

３　会議に出席した委員

教育長	伊藤　正徳
職務代理者	田中　智和
委員	田中　早苗
委員	髙崎　佐智江
委員	山本　哲男

４　会議に欠席した委員

なし

５　会議に出席した職員

教育部長	山田　達也
教育部次長兼教育総務課長	山田　正勝
教育部次長兼図書館長	是住　久美子
学校教育課長	鈴木　和美
生涯学習課長	小久保　高
スポーツ課長	鈴木　雅也
文化財課長	天野　敏規
生涯学習課主幹	加持　廣則
教育総務課長補佐兼係長	大久保　加奈子

６　議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第４回定例会議事日程

日　時　令和８年４月２８日（火）
午後４時
場　所　市役所北庁舎３階　３０２会議室

１　会議録署名者の指名

２　教育長報告事項

３　議案
（１）議案第１４号　大草小学校・神戸小学校再編整備方針について

４　報告事項
（１）教育委員連絡報告事項
（２）小中学校の在り方に関する意識調査の結果について
（３）田原市学校未来創造計画の改定について
（４）教育委員会令和７年度共催・後援事業について
（５）田原市社会教育事業共催・後援事務取扱要領の改正について
（６）令和８年度の主なイベントについて
（７）小中学校への寄附について

５　その他

開　　会　　午後４時

教育長　本日は何かとご多用のところ、御出席くださいまして、誠にありがとうございます。

ただいまの出席者は５名であります。定足数に達しておりますので、令和８年田原市教育委員会第４回定例会は成立をいたしました。

これより開会をいたします。

教育長　それでは、会議規則第１３条第２項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、田中智和委員と田中早苗委員のご両名を指名させていただきますので、よろしくお願いをいたします。

教育長　それでは、議題に先立ちまして、教育長報告を私からさせていただきます。

それでは、２ページから３、４、５ページまで、私の関係となっておりますので、御覧ください。

抜粋してお話をさせていただきます。まず、前回の定例会から、３月３１日と４月１日、それぞれ教育委員の皆様にもご出席をいただき、教職員の退職辞令交付式並びに発令通知式を、滞りなく行わさせていただきました。ありがとうございました。

それから、今年度に入りまして、４月６日、第１回の田原市小中学校長会議を、昨年よりも１週間ほど早いのですが、行いました。内容としては４ページにあります。ここで、学校はこうあってほしいという教育長の思いをお話させていただきました。背骨になるところでは、学校経営を安定させるには、まず何よりも、学級経営の安定が必要であること。そして、学級経営を安定させる第一の条件となるのが、楽しい授業が行えるかということで、学校にはこれに向けて、全力で頑張ってもらいたいというようなことをお伝えしました。それから防災対策については、それぞれの学校でマニュアルを作っています。それももちろん大事ですが、やはり中学校区で連携をして、情報共有をし、いざというときには対処をしてほしいと、そのようなことも伝えました。

４月８日には、小学校の入学式と１０校が同日に始業式、入学式の翌日に始業式を行う小学校が８校あったのですが、そこに、本年度４月１日付の児童数を出させていただきました。これを見ると、少子化がもう既に、小１にまで及んでいて、このままいくと、大変なことになるというのが分かっていただけるかなと思います。

それで４月９日には、中学校の入学式、始業式も行いましたけれども、中学校は基本的に小学校が安定しているところがまだ続いておりますので、ここについては、ほぼ５００人を維持していることになり

ます。

次のページ、３ページに行っていただきまして、４月１５日ですが、時習館高校の寺田先生に代わっての新しい校長先生と、私立の桜丘高校の校長先生がお越しくださいました。やはり、当然のことながら、もう全て埋まっていると。倍率も非常に高いということで、いろいろ夢を語っていただきまして、私のところに来れば、こういうような子供を育てると。そして、最終的にはこういう方面に活躍できる人を作りたい。高校の校長というのは、小中の校長以上に、具体的にこういう夢を語ってほしいと思います。

それから、４月１６日ですが、東海北陸の都市教育長協議会が石川県金沢市で行われ、出席いたしました。そこで２つばかり、事例発表があったのですが、１つは市民館におけるいわゆる生涯学習の進め方についてで、あちらは指導主事という言葉を使っていたのですけれども、うちで言うと、市民館主事ですね。市民館主事を中心に、市民館を盛り上げるような講座や教室をやるのが大事という、これはそのとおりだと。これは田原市でもやっているので、そう珍しくはないのですが、その次に、福井県の勝山市というところが、県立高校の再編というのを出してきまして、そこがいろいろなタイプの県立高校の再編をシミュレートして、一番いいのはこれだということで出してきたのですけれども、それは結局、時習館高校がやった附属中学というのを作って、中高連携を同一校でやる。これが一番、県立を立て直す最善の道であるとはっきりとおっしゃいました。田原市でも校舎が離れている、いわゆる連携型というのを行っておりますが、当初はよかったのですが、今はなかなか苦しい状態にあると。それはシステム上の問題があって、やはり中高連携をカリキュラムから一緒にしてやらないと、学校の魅力は出せないと。それで福井もかなり県立高校が大変な状況らしいのですが、これから立て直すには本気でやるしかないと。立派なのは、福井県の県教委が主導してこれをやっている。愛知県もそれが必要ではないかなと思って帰ってきた次第です。

それから、４月２１日に教頭会議が行われまして、これについては５ページのところにその内容があります。基本的には３名の新しい教頭が誕生しましたので、教頭というのはこういう仕事だと。基本的には、校長の補佐をするというのが、まず大前提ですが、補佐というのは簡単に言うと、校長の言うことを聞いていればいいだけではなく、ちゃんと自分の考えを持って、校長と共通の理解をしながら、下の者を見て、そして校長がいざというときには、その代理ができる。そのくらいの力量をつけておいてということを述べました。あわせて、特に教頭クラスになると、財政であるとか法令に詳しくないと、いざというときは耐えられませんので、その法令に一番詳しいのは事務の方ですので、教えを受けながら、しっかりと法令について、あるいは財

政について、事務の方まかせにはせず、しっかり理解しながらやってくださいという話をしました。
　それから、戻って４月２４日ですけれども、赤羽根中学校の体育祭に出席しました。雨でなかなか判断が苦しかったのですが、その日にやると、校長が言ってやり切りました。本当に雨が最後まで降らなかったので、立派なものだと思いました。赤羽根中は、１年から３年まで、泉中学と統合した現在でも２クラスで、人数が少ないのですが、非常に和気あいあいと、それからちょっと１年生が元気で心配されたということもありましたが、その１年生も非常にまとまりよく、大きな声を出して、歌を歌うときには歌うし、応援するときにはできる、そういうような体育祭を見せていただき、大変感心いたしました。
　最後、４月２５日に、杜国祭というのが福江の潮音寺さんで行われたのですが、小学生の俳句が６００句ほど集まりまして、旧渥美町を中心に、顕彰会という小学校に俳句の指導に入っていただける、そういうことをやっていただいて、なかなかこの俳人杜国というのは、こちらの旧田原町では馴染みのないものですけれども、非常に大事にして、それをさらにまちづくりに生かすというような、そんな方針でやっておりますので、こういう方向で、それぞれまちづくりをしていただけると、田原市も盛り上がって良いと思った次第です。
　自分の報告はここまでといたしますが、なにか質問がございますでしょうか。

委員　　（質疑なし）

教育長　　よろしいですかね。
　それでは、御質問もないようですので、教育長報告を終わります。

教育長　　では、これより議題に入ります。
　初めに議案第１４号　大草小学校・神戸小学校再編整備方針についてを議題といたします。
　事務局の説明をお願いいたします。

教育総務課長　　教育総務課長の山田です。よろしくお願いいたします。それでは６ページをお願いします。議案第１４号です。大草小学校・神戸小学校再編整備方針について。大草小学校・神戸小学校再編整備方針を別添の通り定めるものとする。令和８年４月２８日提出です。
　次ページをお願いします。整備方針でございます。田原市教育委員会では、小中学校の規模適正化を図るため、令和元年５月に策定した田原市学校未来創造計画に基づき、小中学校の在り方について検討を進めてきました。大草小学校、神戸小学校の統合については、大草小学校の小規模化を危惧する声が地域から上がり、令和８年２月２５日

に、大草コミュニティ協議会より２校の統合を希望する文書が提示されたことを受け、次のとおり、大草小学校・神戸小学校再編整備方針を定めるものです。
２、大草小学校・神戸小学校再編整備方針ですが、枠内でございます。（１）として統合の方式ですが、大草小学校を神戸小学校へ統合する。（２）実施時期、令和１０年４月１日。（３）統合校の位置ですが、神戸小学校、田原市神戸町殿畑２６番地。
３の今後の進め方でございます。統合準備委員会につきましては、統合関係校の保護者、教員、校区関係者などで構成する統合準備委員会を設置し、通学体制、閉校記念行事など、統合に向けた課題等について協議します。２の学校施設の整備につきましては、統合にあたって必要な施設設備の整備に努めます。３の通学手段の検討ですが、遠距離通学となる児童の通学手段について、安全かつ負担の少ない方法を検討します。４、学校施設の跡地利用でございますが、大草小学校の跡地利用については、地域の意見を尊重しつつ、活用方法を検討します。
最後に、４の参考でございますが、こちらは令和１０年度の統合時の学校の規模を表したものでございます。
説明については以上でございます。

教育長

事務局の説明が終わりましたが、御質問等ございますか。よろしいですか。
御質問等もないようですので、お諮りをいたします。
議案第１４号　大草小学校・神戸小学校再編整備方針については、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

委員

（異議なし）

教育長

ありがとうございます。では、御異議ないようですので、議案第１４号につきましては、原案どおり可決をいたしました。

教育長

それでは、続いて報告事項に入りたいと思います。はじめに、教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次お願いいたします。それでは、田中智和委員からよろしくお願いします。

田中智和委員

失礼します。３月３１日、田原市退職教職員辞令交付式、続いて４月１日、田原市教職員発令通知式に参加させていただきました。フレッシュな先生を見て、先生たちが退職まで長く田原市で勤務を続けてくれたら嬉しいと思いながら、先生方を見ていました。
そして、４月３日、東三河教育事務所管内教育代表者会議に出席しました。初めての会議でとても緊張したのですが、非常に濃い内容で

大変勉強になりました。

そして、豊橋の職務代理者の渡辺委員さんが、子宮頸がんワクチンについて、もっと市の方からワクチン接種について促してくれたらいいのにという話を、豊橋の方はなかなかしてくれないと仰って。ちょうどその前の週、次女が子宮頸がんワクチンを打ったところで、我が家も３人娘がいますけれども、みんな打つ予定なのですが、みんな悩んで、妻もすごく悩んで打ったので、本当にこれが大切だということを、学校も言いづらいのかもしれませんが言っていただけたら、子宮頸がんにかかってしまうような悲しいことが減っていくのではないかと思いました。

そして、４月１０日に東部中ＰＴＡの役員委員会に出席させていただきました。私は普通の委員なのですが、これから１年、今の中学校のＰＴＡ役員はこんなふうですと伝えられたらいいなと思います。

そして、４月１８日、これは自分事になりますけれども、岐阜県の方で、東海４県中学校選抜剣道大会に保護者として応援に行ってきました。子供たちは、副顧問の北川先生に前日から電車で引率していただいて、岐阜市で宿泊して、顧問の柴田先生には、車で防具を運んでいただき、同じく一緒に宿泊していただいて、当日は杉浦教頭まで応援に岐阜県まで駆けつけていただいて、結果こそ１勝３敗で、残念ながら教育長への訪問はならない結果とはなりましたが、夏に向けて、次こそは教育長への訪問を果たしたいと思います。

そして、その次の日の４月１９日に、水戸大会という、これまた剣道の話で失礼しますが、田原中学校の男子が３位で、東部中学校の女子も３位と、これまた田原勢の活躍がありました。報告させていただきます。

そして、４月２３日に、神戸小学校の授業参観とＰＴＡ総会に参加しました。令和８年度のＰＴＡ会長さんが、初めての女性のＰＴＡ会長さんで、会長さんの挨拶で、自分の子どもに言ったときに「いいじゃん」みたいな反応だったらしくて、今の子どもたちは「ママは女なのに」とか、そういう意識の世代ではないと思った、と仰っていました。自分はそう言われるのかなと思っていたら、子どもの反応が、子どもたちはもう出席番号も男女が混ざっていて、男女が一緒というのが当たり前の感覚なのではないかということを仰っていました。今年は女性１０人、男性３人というＰＴＡ役員の中で決まったそうで、これから女性がどんどん活躍するのではないかなと思いました。

そして、４月２４日に東部中学校の授業参観に参加させていただきました。こちらはＰＴＡ総会もあったのですが、これも書面、伝達くんで報告、意見はありますか、ありませんかという感じで、集計を取って終了という、これまた時代だなと思いました。

以上、簡単ですが、今年度は私、職務代理者ということで出る場所

も多いのですが、保護者としての教育委員だと思っていますので、保護者的なＰＴＡとか、地域のこととかなどを報告していければいいかなと思っていますので、よろしくお願いします。
以上です。

教育長

それでは、笑顔で教育長の表敬訪問をしてくれることを待っておりますので、頑張ってください。では、田中早苗委員、よろしくお願いします。

田中早苗委員

お願いします。私も皆さんと同じく、３月３１日の教職員退職者辞令交付式や４月１日の教育委員会事務局職員辞令伝達式に参列しました。息子たちがお世話になった先生が退職されたり、講師だった方が教師になったり、いろいろな方の門出に立ち会わせていただいて、毎年、自分もできることをできるだけ頑張ろうという気持ちになります。
続いて２３日に、田原市保健対策推進協議会に参加予定でしたが、書面開催となりました。議案は田原市新型インフルエンザ等対策行動計画の素案についてでした。６０ページに及ぶ冊子には、国や県の計画を踏まえて策定されており、今後、発生が危惧される幅広い感染症に対するものでした。私が少し違和感を感じたのは、この名称なのですけれども、新型インフルエンザ等とあり、等というなら、もう感染症でいいのではないかと思いましたが、国や県の名称に沿っていると思うので、変わることはないかなと思いました。
令和２年の新型コロナウイルスの発生時、卒業式をどうするか、入学式はどうするかと、学校関係者にとって、とても大変な時期だったと思うのですが、そのときに、一保護者として、自分のことも大事ですが、子どもの晴れ姿を見たいという気持ちもあって、感染を広げないように、みんな我慢することで、皆さん一致団結した時期だったと思います。ですが、一部では、マスクの買い占めや、不確かな情報に惑わされたり、色々なことがてんやわんやだったと思うのですが、最近も、中東などの世界情勢の不安定さで、石油製品が手に入りにくくなっていたりして、今後も十分な備えができるのか、ちょっと心配になりました。書面開催でしたので、他の方の意見も今のところは分からず、今後、何かありましたら報告いたします。
以上です。

教育長

ありがとうございました。それでは髙崎委員、よろしくお願いします。

髙崎佐千恵委員

失礼いたします。私も同じように３月３１日、教職員退職者辞令

式、１日、発令式、そして市職員の辞令式に参加させていただきました。皆さんの意見と同じように、お世話になった先生方が退職されるのを拝見して、感慨深いものがありました。若くとても情熱があり、優秀でいらっしゃった頃を思い出しますと、自分も、若い頃の子育て中の皆さん、それぞれみなさんたちがおっしゃっているように、熱い思いを共感させていただきました。その先生方が残られて、田原市が余裕のある、そしてまだまだ課題も多くあるこの時代に、田原市の教育に関わってくださるということは、本当にありがたいことだなと、心よりお礼申し上げたいと思います。

市の職員の方、そして新しく先生になられた方、いずれも私の第二子、第三子と、同じ学年の方がいらっしゃいました。ということは、もう私はもう次の世代にスタートする年代になってきたなということを、改めて皆さんが教えてくれたように思います。そして今、自分を振り返りますと、少しだけ余力があり、まだ高齢福祉課でお世話になる前の段階で、少しだけお役に立てるのではないかなということを実感しております。

私の出席させていただいた式は２件だったのですけれども、先ほど教育長さんがおっしゃった学校経営は学級経営、そして学級経営は楽しい授業にあるということを伺って、改めて振り返りますと、私の不得意だった出口戦略ということを、これからとても認識する必要があるのではないかなと思います。今の教育方針がありますが、人を育てる立場、そして、私たちのように、皆さんのお手伝いをさせていただく立場ですと、何のためにそれをするのか、それを考えながら見守っていく必要性を、教育長さんのお話を伺って、改めて考えた次第です。

そして、校長先生と共通理解を持ちつつ、自分の意見も持つことが大事。これは私にまさにドンピシャリと刺さりまして、自分の意見を持ちつつ、周りの方との共通認識を持ち、共存、共栄していく。これはこれから何をやるにも大切なことだなと、改めて本日勉強させていただいた次第です。

職務代理が仰った、子宮頸がんワクチンに関して、私も市から通知をいただくと、市外の婦人科にかからせていただいています。そのときの女医さんの言葉をご紹介させていただきたいと思います。

健診をして、先生とお話をさせていただきますと、ちょうど２週間前にお伺いさせていただいたのですが、私は自費で行ってまいりましたが、「田原はいいなあ」ということです。田原はあらゆる面で恵まれていると、つくづく感じております。このことを市民の皆さん、そして保護者の皆さんに、私は広めていくということも、私の役割ではないかということを最近思っております。

そして、都会の方とお話をさせていただくと思うのですが、食糧の

確保を、３か月するということを、この時期特に言われているそうです。田原市は本当に恵まれてるなということをつくづく思いますし、行政の方々に本当に感謝したいと思います。これを自分の中で心に留めて、新年度少しでも、皆さんにご迷惑をかけず、ご協力させていただけたら本望でございます。年齢にそぐわず、頑張ってまいりたいと思いますので、皆様、どうぞよろしくお願いいたします。
以上です。

教育長

ありがとうございました。それでは最後、山本委員よろしくお願いします。

山本委員

今日、渡していただきました『流された永久丸』という本を、事前に拝見する機会があったのですが、これはおそらく、元成章高校の山田哲夫先生が書かれた「風濤の果て」という本が元になっていると思います。泉小学校を中心として作られたと思うのですが、小学校の読み聞かせ等で活用されるといいかなと思いました。今の時代は、紙芝居とか絵本の読み聞かせのような、フェイストゥフェイスの活動の意義が見直されるべき時代だと思いますので、改めてこの絵本の制作に関わった方々に、敬意を表したいと思いす。
この永久丸の船の乗組員の１人に、作蔵という、後に白井勝蔵という人になるのですが、その人が現在の池尻町の出身の方であることから、若戸小学校では、２０年ほど前に、多分３回ほどだと思いますが、劇にして、学芸会で上演したことがあったと思います。巻末には文化財課長さんのお名前とともに、漂民聞書という表記があると思うのですが、学校の社会で歴史を学習しますが、自分たちとは全く関係ないことが多いようで、地域のこういう出来事とか遺物を通して見ていくと、とても身近に考えるようになる。そういう学ぶ意欲を高めるという意味でも、このような教材とか、学芸員の方を学校が、今後、大いに活用していただくことをお願いしたいと思っています。
それから、２点目は、３月２５日に新規採用教職員の内示があったと思います。改めて、今年も本当に多くの方が市外の出身の方で、ずっと以前から田原市の小中学校の新規採用職員は、尾張とかまたは県外の出身の方が非常に多くて、この辺が多分、市役所とは全く違う点だと思います。慣れない土地で、しかもひとり暮らしをしながら頑張ってくれていることを、大変ありがたく思います。そういう方が決して１人で悩みを抱えないように、改めて支えていってほしいというように思います。
ただ、現実的には、こういう方のほとんどが、数年たつとここから離れてしまうという現実もあるかと思います。それがどうこう言うわけではなく、これは将来の田原市において教職員の数が少ない年代が

何年も続いていくということを意味していると思います。これから、学校未来創造計画の改定が行われていくというように今日も仰られているわけですが、そのときに人口や児童生徒数の減少とか、それから財政面のいろいろなことというのも問題になってくると思うのですけれども、教職員の減少という表記はあるのですけれども、この年代構成の薄い層がある点。将来、先生の中には、校長先生や教頭先生になっていく方も確保しなくてはいけないので、そういう意味も含めて、将来的に大きな課題を抱えているなということも、改めて感じました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。委員の皆様には、また今後も情報収集、並びに先ほど髙崎委員が言われました、田原市はいいなというのを啓発していただけるよう、よろしくお願いをいたします。

それでは次に、報告事項の（２）小中学校の在り方に関する意識調査の結果について、事務局から報告をお願いします。

教育総務課長

教育総務課からです。よろしくお願いいたします。

それでは８ページをお願いいたします。小中学校の在り方に関する意識調査結果の概要でございます。３つ、それぞれ分けて説明させていただきます。

まず、左の上の表になります。こちらは、田原市の０歳から１４歳の子供の将来人口推計となっております。こちらを御覧いただきますと、子供の数でございますが、一番右の２０７０年の時点では３，０７６人と、現在の２０２５年時点の７，０４７人の半分以下まで減少する見込みとなっています。

そして、小学校の在り方について、中長期的な視点からの検討が必要な状況になっているというようなことが伺える表となっております。

続いて右の表になります。子供たちの意見、アンケートの調査結果のまとめとなります。こちらは、昨年の１２月に、市内の小学校の５、６年生、そして中学校の１、２年生を対象に、アンケートを実施した結果をまとめたものとなってございます。

結果としては、多様な学びや地域との関わりを強化するニーズが見られた。そして、同級生は現状より少し多い環境としたい声が多かったということです。ここで設問の内容でございますが、まず、将来のこと、学びたいこと、学ぶ環境のこと、地域のことについて、それぞれ質問をしてございます。青色で書いた文がございますが、まず将来のことについては、自分のやりたいことができるから、または自分のやりたいことができないから等の理由で、田原市を一度は出てみたい

というような回答が５０％程度。そして、学びたいことについての設問に対しましては、学びたいことや、総合学習の時間の拡大、拡充について希望する声が多くありました。そして、学ぶ環境のことという設問につきましては、同級生数は、現状より少し多い環境を理想とする声が多く、家から遠くバスで通っても、同級生が多い学校のほうが選ばれております。そして、最後、地域との関わりですが、地域の人と一緒に活動する機会を増やしたいという意見が多かったというような結果が出てございます。

９ページに、これをグラフ化しておりますので、参考にご覧いただければと思います。

続きまして、また８ページに戻っていただいて、最後、下の表になりますが、こちらは昨年の１月から２月にかけまして、４つの中学校で小学校区ごとに、保護者や地域の代表者を対象としたワークショップを実施した結果を取りまとめたものでございます。小学校の未来に関する不安や課題と、１０年後の小学校と地域をよくするアイデアを話し合っていただいたところでございます。ワークショップでは、保護者や地域の住民から、将来に向けた課題、それからこの課題解決に向けた方向性の意見を多数挙げていただきました。課題解決の方向性としては、統合だとか、ネットワーク化だとか、特色ある授業だとか、地域との連携強化というような意見が挙げられたところでございます。

以上でございます。

教育長

では、事務局の説明が終わりましたけれども、何かご質問等はございますか。よろしいですか。

それでは、ご質問もないようですので、次に（３）田原市学校未来創造計画の改定について、事務局から説明をお願いします。

教育総務課長

引き続き、教育総務課です。よろしくお願いいたします。

ページ数で言いますと、１０ページになります。よろしくお願いします。令和元年５月に策定しました現田原市学校未来創造計画の見直しを行うため、田原市学校未来創造計画改定委員会設置要綱を定めました。委員につきましては、本計画の見直しを検討するに当たりまして、必要と考えられる立場の方を第３条に定めまして、教育長が委員を委嘱し、改定委員会を開催するものでございます。

続きまして、１２ページをお願いいたします。

改定委員会委員の名簿になってございます。また御覧いただければと思います。

続きまして、１３ページをお願いいたします。

学校未来創造計画の改定につきましては、記載のあります１番から

５番について検討を進めてまいります。
次のページから詳しく説明をさせていただきます。１４ページをご覧ください。
まず、１の学校未来創造計画の概要でございますが、現行の学校未来創造計画は、１にあります小中学校の規模及び配置の適正化、そして魅力ある学校づくりと教育の充実、そして学校施設の長寿命化改修計画、最後、廃校の利活用の方策の方針をまとめた計画となっております。計画の期間でございますが、適正規模、適正配置につきましては、令和元年から令和22年まで、そして長寿命化計画につきましては、令和元年から令和39年までとなっております。
現行の計画内容はこの枠内でございます。①として小学校の規模及び配置の適正化でございますが、小学校の適正規模は、１クラス２０人の６学年、１２０人となってございます。中学校につきましては、１クラス２０人の最低２クラス３学年で、こちらも１２０人となっております。
そして、現在の適正配置につきましては、小学校が４キロ、中学校が６キロ圏内に１校としているところでございます。先ほど説明しました適正規模、適正配置の根拠でございますが、こちらは平成１９年に、「田原市教育問題研究会」の答申によるものとなってございます。文科省が示す適正配置の基準は、小学校５年生と中学校２年生に対してのアンケートやストレス度合の測定により、小学生、中学生にストレスがかかりすぎない通学距離という基準で定めたものでございます。これを引用し、このようになっているものです。
また、複式学級の基準としましては、小学校２学年で１４名、ただし、１年生を含む場合は７人ということになってございます。そして②の魅力ある学校づくりと教育の充実と、枠内で囲ってございます３の学校施設の長寿命化改修計画。これは、学校のこれからの修繕や長寿命化やバリアフリー化、空調設備設置などの設置整備計画を定めてございます。
そして、４つ目が廃校の利活用の方策の方針として、廃校の利活用の考え方とその課題がまとめられているものでございます。
続きまして、１５ページです。
学校未来創造計画の変遷でありますが、平成２６年１２月に、田原市では「学校全体配置計画」というものを策定してございます。その後、「学校全体配置計画」を廃止し、先ほどから説明しております「学校未来創造計画」を、令和元年５月に策定いたしました。
今後、令和９年３月までに、学校未来創造計画の改定を予定しているところでございます。
学校全体配置計画、先ほど平成２６年１２月に策定された学校配置計画では、一定規模以下の人数の小中学校を統廃合の対象とし、統合

先の学校を計画上に位置付けたもので、行政主導の統合を行ったものでございます。和地小学校、伊良湖小学校、堀切小学校を伊良湖岬小学校に統合したとか、野田中学校を田原中学校に統合したとか、これらの統廃合は、この計画に沿って行われました。

現在の学校未来創造計画でございますが、学校全体配置計画を見直し、新たに策定した計画となっております。

また、学校未来創造計画に含まれる「長寿命化計画」は、田原市公共施設等総合管理計画という、市の公共施設に関する計画が別にございまして、これを上位計画とする個別施設計画として位置付けられています。

この計画は、学校を地域コミュニティの核として、また、魅力ある学校づくりのためには、地域との連携が重要であるため、少人数であっても地域に学校があった方がよいとして、できる限り、現在の配置を維持する計画として定めたものとなっております。

下の図でございますが、田原市公共施設等総合管理計画との関係を表しております。真ん中に田原市公共施設等総合管理計画がございまして、その横に、それぞれまちづくりの総合的な指針、最上段には田原市総合計画もございます。そして、その他、関連計画ということで、学校未来創造計画。ここに位置付けられているものですので、この学校未来創造計画というのは、学校の適正配置もありますが、実は長寿命化だとか、そういったものも含まれている。そのような計画となっているものでございます。

続きまして、次ページ、１６ページをお願いします。

学校未来創造計画改定の必要性でございます。まず、１つ目として、学校未来創造計画には、児童生徒数の状況変化等が考えられるため、５年ごとに計画を見直す旨、記載されてございます。児童生徒数の推計を改めて算出しましたところ、計画策定時よりも、児童数が大幅に減少する見込みであることが判明しました。

②です。従来の学校未来創造計画では、統合が財政縮減につながらないのではないかとされていますが、これは、比較的短期間のコストのみで考察した場合のものになります。現行の学校未来創造計画策に、統合に関するコスト比較が記載してございます。これを見ますと、例えば、伊良湖岬小学校の統合の前後の財政負担比較でございますが、和地小学校には年間１，４０３万７９４円かかります。堀切小学校は、８６６万４，３１４円。そして、伊良湖小学校では７６７万６，０２２円かかっておりました。３校を伊良湖岬小学校に統合しましたところ、１年にかかる金額というのは、１，５７９万２，３９５円。統合前後の増減というのは、統合前に比べ統合後はマイナス１，４５８万５，０３５円となります。しかし、統合後はスクールバスを運行する経費が増加いたします。これを差し引きしますと、プラス

２，７６６万３，００４円ということで、統合後のほうが増えております。これは短期的な経費のみを見た数字でございます。

これが、例えば、１０年、２０年経ったときに、統合しない場合、和地小学校、堀切小学校、伊良湖小学校の大規模修繕等の費用がそれぞれにかかってきます。この大規模改修の費用というのは、先の計算には一切、含まれておりません。

学校の多くが老朽化し、維持・改修に多くの費用がかかる現状において、今後の大規模な修繕費用や建替費用を含め、長期的な視点でコスト比較を再計算する必要がございます。

改定後の学校未来創造計画には、こういったこともしっかり載せていく。そのようなことを考えているところでございます。

ですので、一番下の枠内にございます中長期的な学校のあり方において、昨年実施したアンケート等の基礎資料や、今年度、実施予定のワークショップでいただく御意見などを参考に、よりよい教育環境の提供ができないかということを検討するものでございます。

続きまして、１７ページでございます。令和７年度実施の基礎資料の集計と考察結果でございます。先ほど少し説明しましたが、人口推計、小学校５、６年生、中学校１、２年生を対象としたアンケート、そして小学校区ごとに、保護者、地域、学校、保育園を集めたワークショップを開催した結果でございます。

まず、左の表でございますが、こちらは、学校未来創造計画策定時の推計になってございます。これを見ますと、令和２２年の推計まで載ってございます。その右側、令和７年度に改めて算出した推計になります。一例として、伊良湖岬小学校の人口推計を載せてございます。まず、青色のプロットでございますが、算出した伊良湖岬小学校の児童の推計値になります。オレンジ色のプロットは、２０２０年と２０２５年時点の実数でございます。そして、２０３０年のところにある灰色のプロットでございますが、これは、２０３０年に小学生となる子どもの数というのは、もう生まれている子たちですので、その数値、推計ではなくほぼ実数に近い見込値として、これをグラフに重ねてございます。これを伊良湖岬小学校だけで見てみましても、推計よりもさらに、児童生徒数が少なくなっている現状が分かるかと思います。

その下、小学校５、６年生、中学校１、２年生を対象としたアンケートでございますが、先ほども説明したとおり、今と同規模、または今よりも人数の多い学校へ通いたいという声が多かった。そして、中学校区ごとに、ＰＴＡなどの保護者の代表者、地域の代表者、学校、保育園の関係者等にご参加いただいたワークショップでは、教育環境に関する多様な考え方が示されました。また、子供たちが地域だけでなく、より多くの人々と関わり、多様な体験や視野を広げることが大

切だという意見を多くいただきました。
さらに、他校との交流を望む声も多く上がり、学校を越えた新しい学びの形や地域の連携が、子供たちの成長にとって重要であるという意見が出されております。
１８ページでございます。学校未来創造計画改定のスケジュール予定でございます。上の方から順に、実は昨日、第１回目の検討委員会を開催しております。第１回の委員会では、検討会の進め方の説明と、令和８年度に実施するアンケート内容に対するご意見をいただきました。
昨日の改定委員会では、概ねこの内容でご了承をいただきましたので、本日から、アンケートを配る準備を進めております。アンケート及び集計を行った後、２回目の改定委員会で報告したいと考えております。なお、第２回の委員会は６月の初旬に行う予定となっております。
アンケートは小学生の保護者、そして未就学児の保護者全員対象とする予定でおります。そして、各地域から、５０代から６０代の方それぞれ１００名を無作為抽出し、郵送したいと考えております。
説明は以上になります。

教育長

ただいま事務局の説明が終わりましたが、委員の皆様から何か御質問答がございますか。田中早苗委員、どうぞ。

田中早苗委員

児童生徒へのアンケートで、やりたいことができるから市外へ行きたいというのがあったと思うのですけれども、そのやりたいことの具体例などは出ていますか。

教育総務課長

確認して、改めてご回答します。すみません。

教育長

それでは、そのほかございますか。よろしいですか。この計画ですけれども、アンケートに「統廃合」という言葉が出てくるもので、統廃合を前提にした計画かと言われる可能性もないわけではありませんが、そういうアンケートでは決してございません。
市教委の基本的な姿勢は、議会でも答弁したとおり、あくまで家庭と学校と地域、それぞれに寄り添いながら、子どもの数であるとか、あるいはアンケートなどの意見をもとに、一体どういう方向に進むのが、子どもにとって良い教育環境になるのかと。それを大前提として、では、これからどうしましょうというような話し合いをするための資料としていくものですので、それについては誤解のなきよう、よろしくお願いをいたします。
それでは、次に行きます。

それでは次に、報告事項の（４）教育委員会令和７年共催・後援事業について、事務局から報告をお願いします。

生涯学習課長

生涯学習課です。（４）教育委員会令和７年度共催・後援事業についてですが、１９ページから２１ページまでが、生涯学習課の令和７年度田原教育委員会共催・後援事業の一覧となっております。

合計の欄に記載がございませんが、共催は１２件、後援は７５件となっております。基本的には、共催・後援というのは、要綱に基づいて許可をしている形となっており、各種団体が行う社会教育に関する諸事業、社会教育の事業の推進を図る形のものについて、共催・後援を出しているところでございます。共催につきましては、文化協会が１０件、赤羽根校区コミュニティ協議会と、東三河教育事務所が各１件で合計１２件となっております。後援の方は、一覧のとおり、７５件となっております。

以上となります。

スポーツ課長

続きまして、２２ページ、スポーツ課の共催・後援になります。こちらのスポーツの順位を決める大会、またレクレーション要素の強い大会と、地域活性化にもつながるイベント等も、規定によって承認ができるものに対しては、実施しております。日にちが前後しておりますが、令和７年度といたしまして、２６ページになりますが、共催が５５件、後援が１２０件の計１７５件の共催・後援を実施しておりますので、よろしくお願いいたします。

教育長

それではただいま事務局の説明がありましたが、ご質問等はございますか。山本委員よろしくお願いします。

山本委員

分からないので質問させていただきたいのですけれども、共催と後援という明確な区別というのは、これは規則読めば分かるではないかと言われたらそれまでなのですけれども、補助が出るようなものが共催、というわけではないわけですね。

生涯学習課長

そういうわけではなくて、いろいろ条件もありまして、例えば文化協会が行うものについて、その中で年１回、共催でできるというのもあって、共催にすると施設の使用料が減免になったり、そういったいろいろ条件もありまして、一応、共催は、文化協会の共催が多くなっているという状況となっています、生涯学習に関しては。

スポーツ課

すみません。２８ページ見ていただきますと、田原市社会教育事業共催・後援事務取扱要領というのが載っておりまして、そこの２８ペ

	ージの第３条、共催事業とあるのですけれども、田原市または教育委員会が実施を委託した社会教育事業及び補助事業として認定した社会事業。また各機関団体が広く市民を対象として行う公益性の高い社会教育事業。３番といたしましては、各機関団体、スポーツ協会いろいろありますけれども、こちらの方が極めて有益と認められる社会教育事業。４番その他、３に準じるとありますが、これが共催。特に重いと言うのですかね。要素が重いところ。 その次が後援事業として、４条に、田原市民の参加が広く見込まれ、社会教育といった形の方の、こちらの方は１号から３号も書いてありますが、事業経営が適当で、教育上、効果が期待されるものとか、ちょっと柔らかくなっているものですが、それは後援によって実施できます。ただ、もちろん、その内容を審査しながら、共催・後援の実施を決定していくものでございますので、よろしくお願いいたします。
教育長	そのほかございますか。一見、生涯学習に、自分が聞いていてはいけないのですけれども、特に後援になるのかな。田原市内の施設をはるかに超えて、豊川のイオンであるとか、非常に遠いところのものまで、それは出しているのですけれども、この点については、特に問題はない。
生涯学習課長	豊川のイオンの確か夏休みの工作というか、宿題ではないですけれども、それに関係するもので、展示する形でやっていたと思うのですけれども、それで田原の方もそこに出す形が多い。学校にチラシを配布して出す形もあると思いまして、そこは許可をしている形です。
教育長	内容がちゃんと許可されたということですね。
生涯学習課長	はい。
教育長	そのほかございますでしょうか。生涯、スポーツ、非常にたくさんのものがありますので、また田原市の名前が出ていきますので、しっかり確認の上、共催・後援をしてください。 それでは、次に行きます。 次に、報告事項の（５）田原市社会教育事業共催・後援事務取扱要領の改正について、事務局から報告をお願いします。
生涯学習課長	生涯学習課からです。（５）田原市社会教育事業共催・後援事務取扱業務の改正についてでございますが、２７ページの田原市社会教育事業共催・後援事務取扱要領の新旧対照表を御覧ください。今回の改

正の趣旨は、広く市民の参加が見込まれ、市民に有益である社会教育事業が後援対象ということを明確にすること。また、申請の実態を把握し、責任を持って後援が行えるよう、主催者と開催地の東三河圏内に限ることについて、改正を行うものでございます。

第３条第３号において、「田原市民にとって」を加えております。

第４条第１項において、「広く田原市民の参加が見込まれ、又は広く田原市民に有益と考えらえれる」を加えております。

第５条第５号を第６号に繰り下げ、新たに第５号を加えて、事業の開催地及び主催者の所在地が東三河圏外であるものについては、後援できない要件を追加し、ただし書きで例外も規定してございます。

様式第１号の改正については、３１ページをご覧ください。事業共催・後援願の様式になりますが、「記」の２段上のなお、から、個人情報の取扱いについて、一文追加してございます。

以上となります。

教育長

それではただいま事務局の説明がありましたが、御質問等はございますか。

ないようですので、次に、報告事項の（６）令和８年度の主なイベントについて、事務局から報告をお願いします。

教育部長

報告事項（６）につきましては、私からご説明申し上げます。（６）の資料を御覧いただきたいと思います。

この資料は、市議会議員にあらかじめ報告している資料で、令和８年度行事予定表となっています。

皆さま方、今、御覧になっている薄黄色で示された行事は、教育委員会が主に関係している行事でございまして、５月２２日からは春の文協まつり、２３日につきましては、田原市陸上選手権大会などが開催される予定でございます。

続いて、次ページを御覧ください。６月の２７日から７月１２日まで、中学校総合体育大会が市内各会場で行われる予定でございます。

７月１７日からはシェルマよしご夏休み縄文体験、７月２５日から２６日にかけましては、田原市長杯の少年野球交流大会が行われる予定でございます。

８月１日土曜日は、こどもオペラが田原文化会館の文化ホールで行われる予定でございます。また、８月８日から１０月４日にかけまして、テーマ展　鈴木翠軒展が博物館、８月２９日にはアジア競技大会の聖火リレーが開催される予定でございます。

また、９月にはトライアスロンが伊良湖港一体で開かれる予定でございます。

続きまして、３６ページ、９月２５日からはアジア競技大会サーフ

ィン競技が赤羽根町大石海岸、ロングビーチで開催される予定でございます。
１０月上旬から１１月下旬にかけまして、３日、４日に中学校新人体育大会、１１日、１２日に伊勢市長杯学童軟式野球大会、１０日から企画展　未来へつなぐ、重要文化財　渡辺崋山関係資料、２９日に市内小中学校研究発表会。
続きまして、１０月３０日から１１月１日にかけて文化祭、１０月３１日と１１月１日は、文化祭の一環でございますが、市民茶会が池ノ原会館と農村環境改善センターで行われます。１１月１日はオフロードトライアスロンが予定されております。
次のページ、１１月８日、中部実業団駅伝が市内で行われます。
１１月１５日にスポーツギネス大会、同日ですけれども、田原落語会が開かれる予定でございます。
１１月２７日にシェルマよしごフェス、１２月５日には毎年行われます、愛知万博の市町村対抗駅伝が愛・地球博記念公園で行われます。
翌1月１０日は、二十歳の集いが行われます。1月１７日、予定でございますが、渥美半島駅伝競走大会、3月には、ウォーキング大会や、中学校の卒業式をそれぞれ予定しています。
3月１９日が小学校の卒業式となっております。
また、中学校の卒業式や、小学校の卒業式は委員の皆様方にご依頼をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
3月の赤羽根ビーチランは、第3回目になりますけれども、計画を予定しています。
簡単ですが、以上報告とさせていただきます。

教育長

ありがとうございました。
ただいま事務局の説明がありました。
ご質問等ございますか。たくさんの行事が組まれておりますので、またできましたら御覧いただけるとありがたいと思います。

それでは、ご質問もないようですので、次に報告事項の（7）小中学校への寄附について、事務局から説明をお願いします。

教育総務課長

資料の３９ページを御覧ください。
3月２６日、株式会社天野ポンプ様より、小中学校の子供たちのためとして、５０万円を御寄附いただきました。
また、次ページ、4月2日に田原ロータリークラブ様より、地域における青少年のスポーツ振興および健全育成のためとして、旧田原町内の小中学校へ、バスケットボール9個を御寄附いただきましたの

	で、御報告させていただきます。 以上です。
教育長	はい。ありがとうございました。 事務局の説明が終わりました。 何かご質問等はございますか。 御質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。
教育長	そのほか、事務局から何かありますか。
生涯学習課長	生涯学習課です。 ４３ページを御覧ください。令和８年度　春の文教まつりのチラシでございます。５月２２日（金）から２４日（日）田原文化会館一帯で行いますので、お時間があればお越しください。 続きまして、次ページ４４ページを御覧ください。第２３回田原市音楽祭を６月１４日（日）午後２時から開演で行います。入場料は無料となっていますが、昨年は満席となっておりますので、御鑑賞を考えている方は、早めの入場をお勧めいたします。 続きまして、次ページ４５・４６ページは「あつみにこんさーと」の今年度のプログラムとなっております。渥美文化会館で年間４公演を予定しています。チケットは全４回公演のスペシャルセットは割安となっておりますので、御鑑賞の際には御利用いただければと思います。 続きまして、４７ページは「家庭の日コンサート」のチラシとなっております。年３公演を予定して、入場料は無料となっております。 お時間ありましたら、こちらもぜひお越しください。 以上です。
教育長	そのほか、ありますでしょうか。
教育総務課長	はい。
教育長	はい。教育総務課長。
教育総務課長	それでは、教育総務課から、資料のほうにお戻りいただきまして、４２ページを御覧ください。 教育委員さんの出席日程（案）ということで、資料を添付しております。 本日、４月２８日以降のスケジュールでございます。

	５月８日、愛知県市町村教育委員会連合会の第１回理事会ということで、１４時から長久手市役所で。こちらは、髙崎委員の御出席をお願いいたします。 ５月２２日、第５回の定例会としまして、１３時３０分から北庁舎３階の３０２会議室で行います。 ６月１７日、第６回の定例会としまして、１３時から６００会議室で行うことを予定しております。 ページ下段の表ですけれども、教育関係イベントということで、今年度も教育関係イベントが開催されますので、よろしくお願いいたします。 以上でございます。
教育長	はい。ありがとうございます。 では、その他どうでしょうか。 文化財課長よろしくお願いします。
文化財課長	はい。配付資料で、展示案内を配付させていただきました。 今年度の博物館の展示の予定でございますので、ぜひ御来館いただければと思います。
教育長	はい。ありがとうございます。 そのほか、ありますか。
図書館長	はい。
教育長	はい。どうぞ。
図書館長	資料に「こどもブックフェスタ」の案内と、「たはらとLeaf」の４月、５月号を添付させていただきました。図書館の行事が載っておりますので、皆さんよろしければ御覧ください。 今年度も、こどもブックフェスタを開催します。毎年、大人の方もやりたい方がいらっしゃいまして、大人の方も参加できますので、よろしければ御参加ください。
教育長	ありがとうございます。そのほかどうですか。
教育総務課長	ございません。
教育長	それでは、委員の皆さんから何かございますでしょうか。 ないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

	ご協力ありがとうございました。 これをもちまして、田原市教育委員会第４回定例会を閉会とさせていただきます。 ありがとうございました。
教育長	閉　　会　　午後５時８分